



森の息吹

No.167 4月号
2020. 4月1日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

重要なお知らせ

新型コロナウイルスの影響により当別町から多人数によるイベント、会合の自粛要請が通達されている中、「シラカンバ」といたしましても諸事情を鑑み、会の活動は当面の間、自粛させて頂く事となりました。具体的には、3月に予定しておりました役員会ならびに総会は中止とさせて頂きました。また、4月に予定しております「シイタケの植菌作業」は、屋外作業とはいえ皆様の健康と安全を確保するために中止せざるを得ないと判断いたしました。協働の森総会につきましても4月実施は難しいとの判断です。今後は新型コロナウイルスの収束状況に合わせて日程を検討してまいります。今年度の活動計画も立案されておりませんが、近々の活動予定につきましては前年度と同様とさせて頂きました。なお、会報5月号の発行はいたしませんのでご了承下さい。

一応、5月の活動予定を掲載しますが実施するかはあらためて4月末にご連絡をいたします。

5月3日(日)

内容 協働の森の苗畑作業 詳細は同封の「協働の森の会」連絡を参照
場所と時間 山田倉庫 8:45 午前で終了

5月17日(日)

内容 140年の森 下草刈りと補植&山菜観察
時間と場所 山田倉庫に9:30集合
持ち物 腰道具、刈払い機、軍手など 弁当、飲み物



一斉に飛び立つマガン

木に触れて
林で遊び
森と育つ



幼鳥は腹の縞模様がない

編集者より

今冬は記録的な雪の少なさであり、融雪も進み春の訪れは早いようです。毎年この時期にはハクチョウが遠くシベリアに帰る前に田んぼの落ち穂を求めて羽を休めます。今年はそれに混ざり10年目にして初めてマガンが目の前の水田に集結していました。

宮島沼より飛来すると思われませんが

おびただしい数のマガンが群れで大空を移動する姿は目を奪うものがありました。国の天然記念物ですが、しかも、わずか2日間ではなくなりまして。コロナウイルスも

ある日突然に消滅すればよいのですが・・・



by 岡田



今回は、皆様もよくご存じの

イギリス生まれのロックバンド、ザ・ビートルズについてです。

昭和30年生まれの私にとっては彼らの全盛期からは、ほんの少し遅れた世代になるのでしょうか？まず、思い出すのは1966年(昭和41年)小学5年の頃。

日本武道館で行われた日本公演のテレビ放送を家族と一緒に見た事。

あまりよく判っていない状況ではあったと思いますが

小学生なりにちょっと、カッコイイな！くらいの感じでした。

少し物心がつき始めた中学生の頃。

ラジオの深夜放送が盛んな時代でしたが、ビートルズの特集番組が組まれると

(お約束ですが)勉強そっちのけで曲を録音する事に集中していました。

ビートルズに熱を上げ始めた中学3年の頃、1970年(昭和45年)に

メンバー間の不仲による解散が発表されました。同じくして

アルバム『レット・イット・ビー』(LPレコード)の発売と、このアルバム制作の

様子をフィルムに収めた映画『レット・イット・ビー』が公開されました。

映画の中の彼らは正にビートルズ。演奏する姿は本当にカッコよくて

この時の解散の事実は本当に残念に思えました。

当時はYouTubeもビデオもDVDも無い世の中で音楽情報といえば

ラジオか雑誌だけで、動くビートルズが観られる映画は最高のご馳走でした。

東芝のステレオ機器CMにも彼らが登場したのを思い出しますね。

そんなビートルズ。ここ数年(2010年代)は全ての既発アルバムが新発売から

数えて50周年の記念盤が目白押し。そして今年2020年、発表アルバムの最後を飾る

『レット・イット・ビー』が50周年を迎える事になります。(拍手！)

この50年間折に触れて聴いてきた(LP盤・CD)ヒット曲満載のこのアルバムが

最新技術で再構築されて生まれ変わり、従来のCDアルバムとは一味違う

ビートルズサウンドに期待してしまいます。

勿論あのアップルビル屋上ででの演奏シーンでお馴染みの映画の方も再構成されて

登場する？との事なのでこちらの方も期待は膨らむばかりです。

1960年代から最高にして現在にまで至るザ・ビートルズ。

既に2人は亡くなり、今尚ポールとリンゴは個々にコンサート活動を続けています。

もしかして、21世紀を超えて遥かなる22世紀の世の中でもビートルズは

愛され続けているのでしょうか・・・？